

ピーアールピー
P R P 療法について

(多血小板血漿(PRP)の投与によるスポーツ外傷を含む筋、腱、靭帯損傷治療)

PRP 療法とは

PRP は^{プレートレット-リッチ プラズマ}Platelet-rich Plasmaを略した名称で、日本語では多血小板血漿と言います。PRP は血液から血小板を濃縮することにより、血小板に含まれる活性の高い成長因子を多く含みます。血小板は血液 1 μ L に 10~40 万 (個) 含まれて、血液全体に占める割合は 1%以下とされています。血小板は、血管が傷ついたとき、傷ついた場所に集まって血を固める働きがあります。その際、血小板から多量の成長因子が放出されます。この成長因子は、傷ついた組織の修復を促します。

血小板の放出する成長因子の効果により、組織の修復が早まったり、治りにくい組織の修復や保護効果が期待されます。この効果を利用する治療方法が PRP 治療です。PRP には組織修復を始める働きはありますが、どのような組織を作るか指示する働きはありません。そのため、PRP 療法の後、治療効果を期待する組織の種類によって、後療法 (PRP 療法の後に行う運動など) が変わります。

治療の長所・メリット

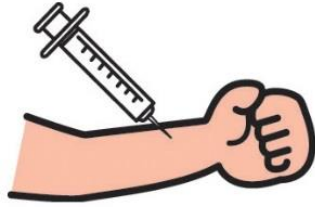
- 自己組織由来なのでアレルギー起こりにくいです
- 日帰りでの処置が可能です
- 治療後から普段の生活が可能です
- 治療手技が簡単で、治療痕が残りにくいです
- 急性期、亜急性期、慢性期のどのタイミングでも受けることができます
- 筋、腱、靭帯など運動器の大半に対して治療を行うことが可能です

治療の短所・デメリット

- 多くの場合、組織修復が再度活性化されるため、急性期の炎症 (痛み、熱感、赤み、腫れ) を数日ほど伴うことが報告されています
- ごく稀に投与箇所、採血部に感染症が起こる可能性があります
- 適切な物理負荷を加えないと、治療部位が硬くなり長期的な痛みの元になる可能性があります
- 治療が社会保険や国民健康保険など公的医療保険の適用を受けることができません

治療の方法

治療は日帰りで終わります。



①患者さまの血液を
治療に適した量
だけ取ります



②血液を遠心機で
遠心して PRP を製作
します



③PRP を注射器で
患部に注射します

- 痛みを強く感じるときは適宜患部を冷やしてください。
- 2週間後から治療前の生活、運動負荷に戻します。
- 治療の経過観察のため、1週間後、1か月後、3か月後、6か月後にご来院ください。ご来院できない場合は、予めご了承ください上で、当院よりアンケート用紙を送らせていただくことがあります。ご記入のうえご返送くださいますようお願いいたします。

治療にかかる費用について

この治療は公的保険の対象ではありませんので、当施設にて施術料をお支払いいただきます。また同意を撤回された場合でも、採血後は所定の費用を申し受けます。

【お問い合わせ窓口】

福岡志恩病院（担当：白井）

住所：福岡県小郡市美鈴が丘一丁目5番3

電話番号：0942-23-0300